

回 答 書

No.	ご意見・ご質問	回 答
1	<p>オンデマンド化実証実験（第1期）の期間中に、称名滝と立山博物館と雄山神社に行ってきました。私は、観光客の方々がこのバスをどのように利用されているのか、地元住民はどのように利用できるのかを実際に体験したくて自家用車で立山博物館行きました。</p> <p>休日であったこともあり、立山博物館には観光でいらした方々が私の想像よりたくさんいて、雄山神社で参拝される方もひっきりなしで、同じコースで同じグループの方々が何度もすれ違って楽しかったです。報告にもあるように、観光でいらした方々は、千垣駅→雄山神社・立山博物館→まんだら遊園→立山駅をモデルコースにされていたようです。天気も良くて、立山博物館から、まんだら遊園に散歩がてら歩かれる姿が見られました。</p> <p>雄山神社からのバスの行き先は、千垣駅・立山駅・小見口の3コースだったことが報告から読めます。小見に行かれた方が、地元の方だったのかなあと思います。</p> <p>立山町民の私はこのバスをどう利用しようかと思ったところ、結論としては利用しない。になりました。立山博物館に自家用車を駐車したら、バスに乗ってどこへ向かって、もとの駐車場に車を取りに戻らなければいけないからです。では、私が自宅寄りの駅から千垣まで電車に乗って、このバスを利用するかといえば、それもありません。利用される地元住民はあしくら・岩嶽地区の方でしょう。</p> <p>アンケートの利用者の92%の方が再度利用希望しているように、観光の足としての利用価値は高いと思われます。</p>	<p>今回の結果を踏まえ、今後の対応を検討してまいります。</p>
2	<p>昼間のデマンド運行開始や、乗車予約方法（運行日や乗車予定の何時間前までOK?等）などの一般告知が不足していた感じがする。</p>	<p>頂いたご意見を踏まえ、今後は一定の周知期間を確保するよう努めるとともに、効果的な周知方法を検討してまいります。</p>

3	<p>運行路線設定に当たっては、町村の境界にこだわらず、集客の見込まれる立山町側の雄山神社、立山博物館、立山駅からの富山市方面の立山山麓スキー場をラケット状に結ぶ路線も検討して欲しい。冬季に利用客が激減する富山地鉄千垣－立山駅間の代行交通機関にもなり得る。（例：水橋駅（富山市）～舟橋村を結ぶ上条コミュニティバス）</p>	<p>富山市側を運行することについて町民の皆様との合意形成ができていないことなどから、現時点では難しいと考えております。一方で、国においては、交通空白地の解消に向けた対応の一つとして、自家用有償旅客運送の要件等が徐々に緩和されている状況下であることから、これらの動きも注視しつつ、今後調査研究を行っていく必要があると考えております。</p>
4	<p>冬季運行の委託先に当たっては、アルペン交通のみではなく、冬季は運行を停止する立山黒部貫光さんも候補にしてはどうか？</p>	<p>頂いたご提案を踏まえ、今後調査研究を行っていきたいと考えております。</p>
5	<p>協議事項について 地域公共交通の利用者アンケートを通して、移動実態及び公共交通に対するニーズや要望が明らかになるとよい。中でも富山市など町外への通勤者で、地鉄電車を利用したいが、駅のそばに広い駐車場がないのでマイカーでの通勤をせざるを得ない人はどれだけいるか把握し、対応策を考えられればよいですね。</p>	<p>現在、アンケートなどの調査の結果取りまとめ、分析等を行っているところであり、これらを踏まえ、委員の皆さまとともに、施策等を検討してまいりたいと考えております。</p>
6	<p>報告事項第9号について 利用者の数が少ないようにも思えるが妥当か。必要なら県内外にもっとアピールしてはどうか。</p>	<p>利用者数については、様々な見方や捉え方があることから、現状、妥当性の判断はできないものと考えております。ただし、ご指摘のあった周知の部分については、改善可能な箇所が多くあったものと認識していることから、今後の取組に活かしてまいりたいと考えております。</p>
7	<p>報告事項第10号について 「冬のシーズンの利用」ということだが、他の時期との比較は必要ないか。</p>	<p>他の時期との比較の必要性については、「冬」の実証運行終了時に改めて検討したいと考えます。</p>
8	<p>第1期の実証運行が無事終了しご苦労様です。アンケート結果につきまして、回答率が12人（約30%）としており、その内訳が県外75%という結果ですが、本当の観光客、地元客の割合は分かるのでしょうか、アンケートとは別に運転手さんが声掛けをして確認してはいかかでしょうか。</p>	<p>現行のシステムにおいては、代表者一人の予約により、複数の方の乗車ができることなどから、正確な属性の算出は困難です。</p>

9	<p>第2期は、厳冬期、気象条件の悪化等もあり安全のための運行中止等の基準、豪雪・雪崩等で立ち往生にあったときの乗客への対策等はあるのでしょうか。</p>	<p>ご指摘のとおり芦峯寺地区においては、降雪量も平野部と比べ多くなるなど厳しい気象条件となることが予想されます。このことから、受注者とも引き続き緊密に連携しながら、適時適切な対応ができる体制づくりに努めてまいります。</p>
10	<p>運行目的として、①観光客のデマンドバス需要、②地元住民の「バス」利用の潜在的ニーズ検証を掲げている。 今回のアンケート結果では、回答者数が12人と少なく、調査として有効であるかどうかを検討すべきと考える。また、①観光客の意見はあるようだが、②地元住民の意見はどうか疑問である。 第2期において、より多くの意見を聞き取ることが必要であろう。</p>	<p>ご指摘のとおり第1期における地元住民の意見聴取は、決して十分とはいええないものであったと認識しております。これを踏まえ、第2期においては、利用者アンケートを継続するとともに、現在開催しているスマホ教室参加者からの聞き取りなども含め、様々な意見把握方法を検討してまいりたいと考えております。</p>